

J R労働者が働きやすい環境づくりと社会に寄与する運動を作ろう！

東日本ユニオン 仙台地方本部

J R 東日本労働組合仙台地方本部 発行責任者 阿部 勉 編集責任者 教宣部

仙台市宮城野区東六番丁31-2 NTT電話 022-221-7375 NTT FAX 022-221-7509

J R 電話 031-3906 J R FAX 031-3909 メールアドレス unionsemdai@yahoo.co.jp

譲れない要求

満額獲得を勝ち取ろう！

総決起集会を開催

仙台地本

仙台地方本部は11月11日、山交ビルにおいて「基準内賃金の3.6ヶ月分」と55歳以上の社員、エルダー社員、グリーンスタッフへの5万円の加算を要求とする年末手当の満額獲得に向け、組合員35名参加のもと総決起集会を開催した。



総決起を呼びかける阿部委員長

仙台地本阿部委員長は挨拶で要求の根拠や主張を訴え、「年末手当獲得闘争に勝利し組織拡大に繋げる。迅速な情報の共有化を図り、2018年春生活闘争に反映させることを運動の柱に、限られた時間のなか、集中した

2名が決意表明

行動で満額獲得に向け、本部と連携し運動を創り出していこう」と訴えた。



渡辺委員長と佐藤委員長

佐藤本部委員長からの情勢報告と問題提起に続き、2分会の代表から決意表明が行われた。宮城連合分会渡辺委員長は、「毎年の手当交渉の結果に悔しい

エルダー頑張る

仙台新幹線運輸区で車掌として勤務していた渡辺晃さんは、退職の2ヶ月前にTTSは、退職の2ヶ月前に出向発令を受け、2016年8月、仙石線東口窓口に赴任した。



遠隔操作システムの導入による無人化により、仙台駅東口窓口に異動となり、2ヶ所の遠隔操作と改札・精算業務を担当している。4人の出前で一交勤務の業務を行っているが、他の改札口で作業が発生すると、窓口と遠隔操作の両方に対応

現場の管理者であるブロック長の認識の甘さを嘆きつつも「後から来る人のためにも環境の整備に力を注ぎたい」と決意を語る。

しなければならず、体制の不備を実感すると言う。

サービス残業で対処する社員がいるなか、12月には、もう一ヶ所担当改札口が増えると言う。実態を無視した一方的なやり方を許さないためにも、労働組合の存在の重要性を訴える。

思いをしている。是非、要求の満額獲得を実現し、エルダー社員の賃金・待遇改善の足掛かりを創ってほしい」とJR本体とエルダーの連携の重要性を訴えた。福島連合分会佐藤委員長は、「安全・安定輸送に貢献している社員の努力に会社は満額回答で応えなければならず、経営状況からそれは

年末手当交渉が妥結

11月16日、本部は3回目の年末手当交渉で、会社側から『年末手当3.18ヶ月分』12月4日以降準備出来次第支払いの回答を得た。要求額とは程遠く、極めて不十分な回答のため、席上妥結せず持ち帰り、中央執行委員会で稟議を行った。組合員の負託に応えるために不十分なながらも同日17時、妥結の回答を行った。

可能であるとして「自分も全てのJR労働者と連帯して頑張る」力強く決意を語った。最後に

「阿部委員長の「団結ガンバロー」で本部交渉団を支えることを確認した。

新分会に力を結集しよう!

11月11日の山形連合分会の結成に向け、山形6分会は解散大会を行い、意思統一をはかった。

山形施設分会



新たな気持ちで頑張ることを確認

新庄地区分会

新庄地区分会は10月22日、花巻南温泉郷・ホテル志戸平で解散大会となる分会大会を開催した。あいさつに立った江口分会長は、今後の組織状況に触れ、「10月末で解散となるが、新たな分会、班体制のもと一致団結して行動していこう」と呼



記念撮影は嵐の前の静けさか?新庄地区分会の心意気は永遠に!!

びかけた。仙台地本阿部委員長からは、年末手当満額獲得総決起集会の開催、冬期対策交渉の要求集約と衆議院選挙に関する地本指示について説明がなされた。本部佐藤委員長は、横浜・長野・新潟の組織拡大について触れ、各地本の取組みを分析したうえで「私たちは、選択される組合となったと自負している」と着実な前進を評価した。年末手当に関しては一・三・二・五ヶ月であった2007年以上に経営体力は上昇し、四半期決算においては過去最高となる数字になっている」と要求額3・

6ヶ月の根拠を示した。11月1日、エルダー制度に関する第2度目の交渉、3月3日には春闘総決起集会の開催を予定しており、「在任中の2年間は、目的と責任を持って進めていく。現場の声を直接届けて欲しい」と協力を求めた。提案されたすべての議案は満場一致で採択され、佐藤誠さんの団結ガンバロウで締めくくった。その後懇親会は前地本委員長竹嶋さんの乾杯の音頭で始まり、宴は台風通過を吹き飛ばす勢いで大いに盛り上がった。

車両センター分会

山形車両センター分会は、10月20日、「ホテルイーストワン」で分会大会を開催し、山形連合分会設立に向けた分会の解散を全会一致で了承した。永澤委員長は数年後の組織状況を示し、連



佐藤裕二さんへ阿部委員長から記念品が贈呈される

合分会の設立が運営面からも懸命な選択であるとし、「班体制へ移行しても変わらぬ協力をお願いしたい」とあいさつをした。地本阿部委員長の情勢報告に続き行われた質疑では、エルダー社員の労働条件の改善について議論がなされ、総行動を確認して大会の幕を閉じた。大会終了後、佐藤裕二さんの送別会が行われ、参加者全員で四十年に及ぶ鉄道員人生を労った。佐藤さんが語る、波乱に満ちた鉄道人生を共に過ごした仲間への感謝の言葉は、参加者の目頭を熱くし、絆は更に強いものとなった。

米沢地区分会

米沢地区分会は、11月3日米沢駅前「ベコヤ」において、解散大会を行い、山形連合分会の結成について米沢班全員で新たな気持ちで頑張ることを確認した。引き続き10月31日で55歳の早期退職をされた会田和仁さんの送別会が行われ、会田さんは「今日まで仕事や組合運動に頑張ってきたのも分会の



一本締めで長い分会の歴史に笑顔の幕引き

山形駅連合分会

皆さんのお陰でした。心から感謝している」とお礼の言葉を述べた。高橋正明さんの乾杯で米沢牛を味わいながら、会田さんの今後の活躍と米沢班の躍進を誓い合った。

「きのご祭り」を開催

福島連合分会

10月31日、福島連合分会は太田町会館において、OB、宮城連合分会の組合員など18名参加のもと、恒例の「キノコ祭り」を開催した。参加者は、斉藤栄久夫さんが腕を振るった自慢の鍋料理に舌鼓を打ち、昔話に花を咲かせ



健康を合言葉に、来年の再会を全員で誓い合った。